



## 2017年新たな挑戦のはじまり

### 新年明けましておめでとーございませす

八方原地区のみなさまにおかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当会も本年度で活動開始から10年となります。皆様のご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。

昨年もみなさまのご支援を得て水路の清掃、廃水の泥上げおよび老人会による市道の清掃活動、景観形成活動、農業施設の長寿命化事業などを実施することができました。

米国の大統領選挙の結果、日本政府

が強く推し進めてきたTPP交渉の行

方が不透明な状況になってきました。

また農業を取り巻く状況は、厳しくな

り、鋭い経営感覚を持った農業経営が

要求され、当会も側面的な支援であり

ますが、奮闘努力が求められます。

終わりにりましたが、本年がみな

さま方にとって実りの多き年になりま

すよう祈念申し上げます、新年の挨拶とさ

せていただきます。

八方原の環境を守る会

代表 黒瀬 和美

## 排水路の改修工事進む



工法について現地を見ながらの検討

先月号でお伝えしたとおり、施設長寿命化の事業として排水路畦部の改修工事に着手しました。

実験的な取り組みなので、どれだけの効果が期待できるかわかりませんが、従来のままでは状況が悪くなる一方です。

施工の大きなポイントは排水路に垂れ下がった雑草帯の除去と、畦部への機械力による加圧です。毎年の泥上げ作業では対応できないまま、何十年も

そのままになっていました。

施工箇所の大森排水路は麦作の中心的な箇所でもあるので、水路への土砂流れ込みが多いところです。

パワーショベルで雑草帯を取り除き、畦部を成型しなおして、加圧していく作業を繰り返して片側約380メートル、両側で760メートルあまりを丁寧に成型しました。

12月18日、作業の終わった畦部を確認しましたが、今までのぶかぶかした感触はまったくありません。これがどのくらいの期間保てるか、これからの課題です。目地の損傷などの懸念はありますが、これからの経過を注意深く見守ります。



業者作業は丁寧に進捗 (平成28年12月8日)

# 餅つき体験で伝えるもの

伝統的な道具を使った「餅つき体験

大会」を12月18日、八方原ふれあい朝市広場で行いました。

当日は好天に恵まれ、だいがらと杵を使って、次々にお持ちが出来上がり

ました。もち米は、中村さんの田んぼで収穫

されたものです。伝統的な足踏み式餅

つきのだいがらは、市の子ども会育成会小郡支部が所有しているものをお借りしました。

りしました。

現役世代から

次世代に引き継

ぐイベントとし

ても意味がある

のではないかと

考えて、毎年

行っています。

スーパーや

ホームセンター

には、お正月の

飾り餅が並んで

いますが、手づ

くりの温かみは

あまり感じられ

ません。伝統的

な餅つきを体験

の機会を提供す

ことは、お米生

産地として、必

要なことではな

いでしょうか。

杵と臼を使うことは今や、伝統文化の体験学習



搗き立てのもちを手早く丸めて、きれいな形に整える

## 今年も駆け抜ける

### チームハツポウ

第12回山口市駅伝競走大会が1月15日、山口きらら博記念公園内にて開催されます。

八方原自治会のメンバーを主体とした「チームハツポウ」は今年も一般1部にエントリーしました。今年のゼッケンは126です。

今回はメンバーの体調などの事情で昨年とはかなり異なるオーダーで取り組みます。難しい条件の中でも「笑顔でゴール」を目指します。



—昨年のチームハツポウ、終了後のスナップ

## 学びの場に行ってみませんか

地域づくりは人づくりともいわれれます。市内秋穂二島にある山口県セミナーパークでは、毎年「人づくり・地域づくりフォーラム」を開催しています。全国の先進的な取り組みの事例発表は毎回大人気のプログラムです。

また記念講演としてフリーキャスター堀尾正明氏の「地域活性化の決め手はこれだ〜近所の底力〜」もあります。参加費は無料ですが、事前の申し込みが必要です。書記の原田までご連絡ください。

【日時】平成29年2月11・12日